

「統計資料編」においては、県企画政策部が実施している下記の調査等の概要を示すとともに、平成30年(2018年)から4カ年の経済動向を年表にして紹介します。

- 1 青森県景気動向指数の概要
- 2 青森県景気ウォッチャー調査
- 3 令和3年(2021年)中に公表された各種統計調査の結果
- 4 平成30～令和3年(2018～2021年)の県内及び国内・海外の経済動向の年表

1 青森県景気動向指数の概要

(1) 景気動向指数(CI、DI)の概要

景気動向指数は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握及び将来予測に資するために作成された指標です。

景気動向指数には、構成する指標の動きを合成することで景気変動の大きさやテンポ(量感)を測定しようとするものであるコンポジット・インデックス(CI)と、構成する指標のうち、改善している指標の割合を算出することで景気各経済部門への波及の度合い(波及度)を測定することを主な目的とするディフュージョン・インデックス(DI)があります。CIとDIには、それぞれ、景気に対し先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3本の指数があります。

なお、景気動向指数は、各経済部門から選ばれた指標の動きを統合して、単一の指標によって景気を把握しようとするものであり、全ての経済指標を総合的に勘案して景気を捉えようするものではないことに留意する必要があります。

(2) CI、DIのそれぞれの見方

一致CIが上昇している時が景気の拡張期(好況)であり、低下している時が景気の後退期(不況)です。一致CIの動きと景気の転換点(景気の高・谷)は概ね一致します。一致CIの変化の大きさから、景気の拡張又は後退のテンポ(量感、勢い)を読み取ります。

毎月の統計表には、3カ月後方移動平均と7カ月後方移動平均を合わせて掲載しており、3カ月後方移動平均の符号の変化により、基調の変化(改善⇔足踏み、悪化⇔下げ止まり)を、7カ月後方移動平均の符号の変化により、景気の局面変化(景気拡張期⇔景気後退期)をみます。

一方、DIは、景気拡張の動き各経済部門への波及効果を測定するとともに、景気局面の判定に用いることを主な目的としています。0～100%の間で変動し、50%ラインを上回っている期間が景気の拡張期(好況)で、50%ラインを下回っている期間が景気の後退期(不況)です。DIが、50%ラインを上から下に切る時点が「景気の高」(拡張期から後退期への転換点)、50%ラインを下から上に切る時点が「景気の高」(後退期から拡張期への転換点)です。

(3) 青森県景気動向指数の改定

本県では、第10景気循環以降において(第11景気循環を除き)、景気が一循環する毎に景気動向指数の採用系列を見直して改定を行い、精度の維持・向上を図ってきました。

平成27年(2015年)7月に行われた内閣府の改定を受け、本県においても第15景気循環の確定に合わせて景気動向指数を見直し、4年ぶりに第5次改定を行い、平成28年(2016年)1月分から新しい景気動向指数による公表を開始しています。

先行、一致及び遅行系列の各採用系列の改定による主な変更点は以下のとおりです。(表1-1)なお、採用する系列の数は、先行8、一致7、遅行7とそれぞれ旧系列と同数となっています。

① カバレッジの拡充

先行系列において、物価関連指標「日経商品指数(42種)」、一致系列において、生産関連指標「投資財生産指数」、遅行系列において、雇用関連指標「有効求職者数(全数)」をそれぞれ新規採用しました。

② 景気動向との相関

一致系列において、東日本大震災以降生産動向との相関が弱まっている生産関連指標「大口電力使用量」と、インターチェンジ数の変更や新幹線開業の影響等から流通動向との相関が弱まっている流通関連指標「東北自動車道IC利用台数」をそれぞれ除外しました。

③ 重複指標の是正(同一又は類似の統計に基づいており、内容が重複するもの)

遅行系列において、雇用関連指標「現金給与総額(全産業)」を「常用雇用指数(全産業)」に統合しました。

表1-1 景気動向指数採用系列の新旧対照表(下線は変更点)

	旧系列	新系列
先行系列	乗用車新車登録届出台数(前年同月比)	乗用車新車登録届出台数(前年同月比)
	生産財生産指数(前年同月比)	生産財生産指数(前年同月比)
	新規求人倍率(全数)(季節調整値)	新規求人倍率(全数)(季節調整値)
	所定外労働時間指数(全産業)(前年同月比)	<u>移行</u> (先行→一致)
	新設住宅着工床面積(前年同月比)	新設住宅着工床面積(前年同月比)
	建築着工床面積(前年同月比)	建築着工床面積(前年同月比)
	企業倒産件数(※逆サイクル)(前年同月比)	企業倒産件数(※逆サイクル)(前年同月比)
	中小企業景況DI(原数値)	中小企業景況DI(原数値)
		<u>日経商品指数(42種)(前年同月比)</u> ※新規採用

表 1-1 景気動向指数採用系列の新旧対照表(下線は変更点)(続き)

	旧系列	新系列
一致系列	大型小売店販売額(既存店)(前年同月比) 旅行取扱高(前年同月比) 鉱工業生産指数(季節調整値) 大口電力使用量(季節調整値) 有効求人倍率(全数)(季節調整値) 輸入通関実績(八戸港)(前年同月比) 東北自動車道 I C利用台数(前年同月比)	大型小売店販売額(既存店)(前年同月比) 旅行取扱高(前年同月比) 鉱工業生産指数(季節調整値) <u>投資財生産指数(季節調整値)※新規採用</u> 除外 有効求人倍率(全数)(季節調整値) <u>所定外労働時間指数(全産業)(前年同月比)</u> ※移行(先行→一致) 輸入通関実績(八戸港)(前年同月比) 除外
遅行系列	勤労者世帯家計消費支出(実質)(季節調整値) 常用雇用指数(全産業)(前年同月比) 現金給与総額(全産業)(前年同月比) 県内金融機関貸出金残高(前年同月比) 青森市消費者物価指数(総合)(前年同月比) りんご消費地市場価格(季節調整値) 公共工事請負金額(前年同月比)	勤労者世帯家計消費支出(実質)(季節調整値) <u>有効求職者数(全数)(※逆サイクル)(前年同月比)</u> ※新規採用 常用雇用指数(全産業)(前年同月比) 除外 県内金融機関貸出金残高(前年同月比) 青森市消費者物価指数(総合)(前年同月比) りんご消費地市場価格(季節調整値) 公共工事請負金額(前年同月比)

(4) 青森県景気基準日付

景気の転換点について、内閣府によれば、「景気が拡張期から後退期に変化するとき、登山者が山に登って峰(peak)に達した後、下っていくことになぞらえて、「景気の山」と言い、同様に、景気が後退期から拡張期に変化するとき、谷(trough)に下りた後、登っていくことになぞえられて「景気の谷」と言う」とされています。

本県では、県経済の動向を把握し、客観的に分析するための座標軸として示すとともに、国や他県の経済との比較などのため、景気の拡張局面や後退局面を分ける中心的な転換点である景気基準日付(山・谷)を設定しています。

景気基準日付は、景気動向指数(一致指数)の各採用系列から作られるヒストリカルDIに基づき設定します。ヒストリカルDIは、一致指数の個々の採用系列ごとに山と谷を設定し、山から谷にいたる期間は全て下降(マイナス)、谷から山にいたる期間は全て上昇(プラス)として算出しています。

このヒストリカルDIが、50%を上回っている期間が景気拡張期、下回っている期間が景気後退期であり、50%ラインを上から下に切る直前の月が景気の山、下から上に切る直前の月が景気の谷となります。

なお、個々の採用系列の山谷の日付設定は、米国のNBER(全米経済研究所)で開発されたブライ・ボッシュャン(Bry-Boschan)法(※)によって行っています。

内閣府は令和2年(2020年)7月に景気動向指数研究会を開催し、平成30年(2018年)10月を景気の暫定の山と設定し、令和3年(2021年)11月の景気動向指数研究会で、令和2年(2020年)5月を景気の暫定の谷と設定しました。これにより全国の景気の拡張期間は71カ月となり、戦後2番目の長さ、後退期間は19カ月と平均的な長さでしたが、全循環では90カ月と、暫定ですが戦後最長となっています。

この全国の第16景気循環に相当する本県の景気基準日付(景気の高・谷)は、景気の暫定の山が平成30年(2018年)11月(令和3年(2021年)7月に設定)、景気の暫定の谷が令和2年(2020年)5月(令和4年(2022年)3月に設定)となっています。これによる景気の拡張期間は、平成24年(2012年)11月から平成30年(2018年)11月までの72カ月、後退期間は平成30年(2018年)12月から令和2年(2020年)5月までの18カ月、全循環でみると90カ月となっています。このうち後退期間は過去の景気循環と比較して平均的であるものの、拡張期間と全循環はいずれも暫定ではありませんが戦後最長となっています。(図1-1)

(※)ブライ・ボッシュャン(Bry-Boschan)法

昭和46年(1971年)にNBER(全米経済研究所)で開発された手法で、内閣府経済社会総合研究所においても、全国の景気基準日付の設定に用いています。山と谷との間隔が5カ月以上必要であるとか、一循環の長さは15カ月以上必要であるといったルールを条件として与え、12カ月移動平均などを施してデータの変動を平準化し、段階を追って山谷を確定していきます。

図1-1 青森県と全国の景気基準日付一覧表

循環区分(国)	青森県					全国				
	山	谷	拡張期間	後退期間	全循環	山	谷	拡張期間	後退期間	全循環
4	S37.6	S37.12		6カ月		S36.12	S37.10	42カ月	10カ月	52カ月
5	S39.2	S40.1	14カ月	11カ月	25カ月	S39.10	S40.10	24カ月	12カ月	36カ月
	S44.1	S44.9	48カ月	8カ月	56カ月					
6	S46.2	S47.4	17カ月	14カ月	31カ月	S45.7	S46.12	57カ月	17カ月	74カ月
7	S48.9	S50.3	17カ月	18カ月	35カ月	S48.11	S50.3	23カ月	16カ月	39カ月
8	S51.12	S53.3	21カ月	15カ月	36カ月	S52.1	S52.10	22カ月	9カ月	31カ月
9	S55.1	S57.3	22カ月	26カ月	48カ月	S55.2	S58.2	28カ月	36カ月	64カ月
10	S60.4	S62.3	37カ月	23カ月	60カ月	S60.6	S61.11	28カ月	17カ月	45カ月
11	H3.3	H6.1	48カ月	34カ月	82カ月	H3.2	H5.10	51カ月	32カ月	83カ月
12	H9.3	H11.2	38カ月	23カ月	61カ月	H9.5	H11.1	43カ月	20カ月	63カ月
13	H12.8	H14.3	18カ月	19カ月	37カ月	H12.11	H14.1	22カ月	14カ月	36カ月
14	H19.9	H21.4	66カ月	19カ月	85カ月	H20.2	H21.3	73カ月	13カ月	86カ月
15	H24.5	H24.11	37カ月	6カ月	43カ月	H24.3	H24.11	36カ月	8カ月	44カ月
16	(H30.11)	(R2.5)	(72カ月)	(18カ月)	(90カ月)	(H30.10)	(R2.5)	(71カ月)	(19カ月)	(90カ月)

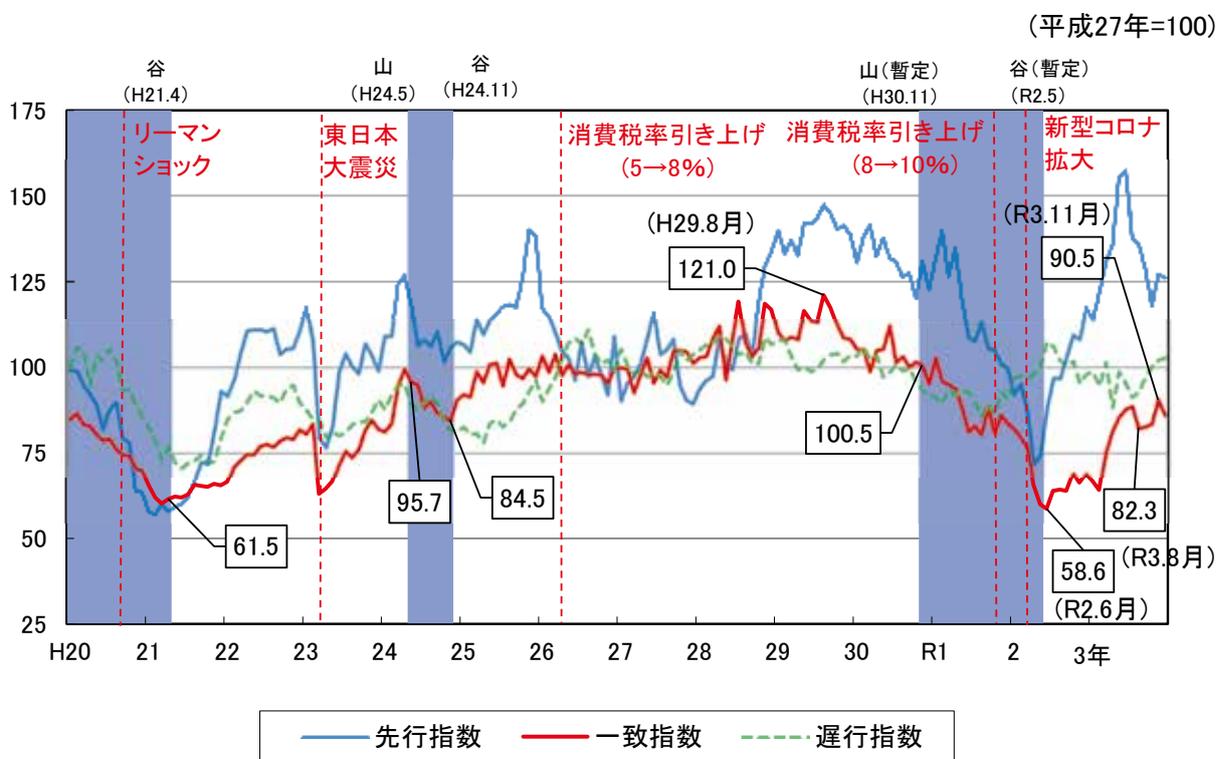
※ () は暫定設定。

※全国のは内閣府経済社会総合研究所公表資料による。

(5) 令和3年(2021年)の景気動向指数について

令和3年(2021年)のC I一致指数をみると、年初は新型コロナの影響により令和2年(2020年)7月以降続いていた拡張傾向が足踏み状態となり下降していたものの、3月以降は上昇が続きまし
た。新型コロナの感染が再び拡大した8月は82.3にまで下降しましたが、その後は上昇に転じ、
11月には90.5にまで上昇し、1年を通して拡張傾向となりました。なお、8月の主な下降要因と
して、消費(旅行取扱高、百貨店・スーパー販売額)、生産(鉱工業生産指数、投資財生産指数)関
連の指標の落ち込みが大きく影響しており、新型コロナの感染拡大による経済活動の停滞による
ものと考えられます。また、12月は消費関連以外の指標が落ち込んだことにより前月を4.4ポイ
ント下回る86.1となりました。(図1-2、表1-2)

図1-2 各指数のグラフ(3指数)



資料) 県統計分析課「青森県景気動向指数」

表 1-2 CI 採用系列の寄与度

系列名	3年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
先行系列	1 兼用車新車登録品出台数	0.3	-6.4	2.8	23.3	9.8	-42.9
	前月差	0.06	-1.73	0.92	7.07	3.14	-7.77
	寄与度	-2.9	-0.5	7.9	2.1	26.6	1.1
	2 生産財生産指数	-0.64	-0.14	1.61	0.45	6.36	0.19
	前月差	-0.09	0.05	0.03	-0.11	0.22	0.16
	寄与度	-4.94	2.30	1.30	-6.49	8.49	7.47
	3 新規求人倍率(全数)	2.8	4.6	6.0	5.5	2.0	-1.0
	前月差	2.73	4.63	6.53	6.10	1.97	-2.19
	寄与度	36.3	-36.8	-22.7	28.2	-4.1	-0.4
	4 日経商品指数(42種)	2.74	-2.84	-1.87	2.51	-0.40	-0.02
前月差	1.16	3.71	-1.08	-2.03	-0.79	0.91	
寄与度	-10.0	10.0	-10.0	7.1	-7.1	0.0	
5 新設住宅着工床面積	-0.95	0.97	-1.09	0.39	-0.91	-0.27	
前月差	-13.4	6.7	10.0	-10.0	3.3	10.0	
寄与度	-3.33	1.71	2.70	-2.86	1.02	3.33	
6 建築着工床面積	-0.32	-0.28	-0.12	0.04	0.66	0.47	
前月差	-3.5	8.0	8.8	5.1	19.6	2.1	
寄与度	113.9	121.9	130.7	135.8	155.4	157.5	
【C.I.先行指数】	1.5	4.6	4.5	7.3	11.1	9.0	
前月差	113.1	117.7	122.2	129.5	140.6	149.6	
寄与度	3.7	3.6	4.8	4.7	6.6	7.0	
※3カ月後方平均	106.5	110.1	114.9	119.6	126.2	133.2	
※7カ月後方平均							
一致系列							
1 百貨店・スーパー販売額(既存店)	-1.7	-1.4	5.5	3.8	-2.3	-4.7	
前月差	-0.43	-0.34	1.47	1.13	-0.76	-1.58	
寄与度	-0.5	-3.4	65.0	56.2	728.9	-639.0	
2 旅行取扱高	-0.08	-0.23	3.85	3.78	3.01	-2.19	
前月差	2.0	-1.1	7.3	-5.3	1.6	3.5	
寄与度	0.38	-0.20	1.44	-1.19	-0.40	0.86	
3 鉱工業生産指数	-2.2	3.0	17.3	-18.6	-7.2	7.8	
前月比伸比率(%)	-1.56	0.67	1.20	-1.52	-0.65	0.64	
前月差	-0.03	-0.04	0.06	0.04	0.00	0.05	
寄与度	-1.52	-1.83	3.15	2.19	-0.06	2.82	
4 投資財生産指数	-4.8	22.6	-13.8	19.8	21.9	42.8	
前月差	-0.24	1.03	-0.65	1.11	1.33	2.68	
寄与度	14.1	-18.1	5.2	7.7	12.1	-6.7	
5 有効求人倍率(全数)	1.39	-1.72	0.53	0.87	1.46	-0.84	
前月差	-2.1	-2.6	11.0	6.4	4.0	2.3	
寄与度	66.7	64.1	75.1	81.5	85.5	87.8	
前月差	-0.7	-0.8	2.1	5.0	7.1	4.2	
寄与度	67.3	66.5	68.6	73.6	80.7	84.9	
※3カ月後方平均	1.1	0.0	1.6	2.5	2.4	3.0	
※7カ月後方平均	66.1	66.1	67.7	70.2	72.6	75.6	
運行系列							
1 家計消費支出(勤労者世帯:実質)	-10.4	-6.2	6.7	-18.8	33.3	-20.3	
前月差	-1.43	-0.87	0.77	-2.41	3.42	-2.95	
寄与度	1.0	-0.5	-0.4	-0.1	0.3	0.7	
2 常用雇員指数(全産業)	1.77	-0.84	-0.68	-0.17	0.51	1.20	
前月差	1.6	-6.6	3.5	-0.2	1.8	3.7	
寄与度	0.80	-2.83	1.67	0.01	0.85	1.72	
3 有効求職者数(全数)(逆方向)	-0.1	0.7	0.3	-0.2	0.9	-0.7	
前月差	-0.20	1.32	0.56	-0.41	1.62	-1.37	
寄与度	0.4	0.4	0.7	-2.2	4.7	-2.0	
4 県内金融機関貸出残高	0.86	0.87	1.53	-4.89	3.46	-3.03	
前月差	0.0	-7.0	-3.8	-10.7	-2.9	4.9	
寄与度	-0.03	-1.52	-0.82	-2.21	-0.54	1.08	
5 青森市消費着物価指数(総合)	-30.8	0.8	134.1	-102.9	14.8	-8.9	
前月差	-0.91	0.01	3.87	-2.90	0.40	-0.26	
寄与度	-0.27	-0.23	-0.09	0.03	0.42	0.29	
6 7人ご消費着物価指数	0.6	-4.1	6.9	-13.0	10.2	-3.3	
前月差	98.6	94.5	101.4	88.4	98.6	95.3	
寄与度	-1.0	-0.3	1.2	-3.4	1.3	-2.0	
7 公共工事請負金額	97.3	97.0	98.2	94.8	96.1	94.1	
前月差	-1.2	-1.7	0.0	-1.8	-0.4	0.0	
寄与度	100.3	98.6	98.6	96.8	96.4	96.4	
【C.I.運行指数】							
前月差							
寄与度							
※3カ月後方平均							
※7カ月後方平均							

系列名	3年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
先行系列	1 兼用車新車登録品出台数	-8.2	7.3	-28.6	-5.8	32.3	8.2
	前月差	-2.79	2.27	-7.40	-1.49	7.31	2.36
	寄与度	-27.8	9.7	-18.7	-7.1	13.1	-15.1
	2 生産財生産指数	-7.06	2.15	-4.23	-1.47	2.76	-3.18
	前月差	-0.19	0.02	0.11	-0.17	0.05	0.19
	寄与度	-9.12	0.93	5.39	-7.49	2.52	5.97
	3 新規求人倍率(全数)	1.4	-0.9	1.5	2.1	-1.1	-2.9
	前月差	1.20	-1.72	1.27	1.86	-1.66	-3.67
	寄与度	9.1	-16.6	17.0	-8.6	-0.6	-2.5
	4 日経商品指数(42種)	0.89	-1.49	1.48	-0.67	-0.01	-0.21
前月差	-1.0	-32.2	39.9	17.7	21.7	-32.5	
寄与度	-16.7	0.0	-33.3	-50.0	-50.0	0.0	
5 新設住宅着工床面積	-1.88	-0.21	-3.16	-4.21	-4.12	0.08	
前月差	-3.3	-3.3	-13.4	6.7	3.3	0.0	
寄与度	-1.11	-0.98	-3.84	1.79	0.86	-0.02	
6 建築着工床面積	0.10	0.03	0.21	0.10	0.15	-0.05	
前月差	-19.9	-1.5	-7.5	-10.5	9.1	-1.0	
寄与度	137.6	136.1	128.6	118.1	127.2	126.2	
【C.I.先行指数】	0.6	-6.5	-9.6	-6.5	-3.0	-0.8	
前月差	150.2	143.7	134.1	127.6	124.6	123.8	
寄与度	2.9	3.2	0.9	-1.8	-1.2	-4.2	
※3カ月後方平均	136.1	139.3	140.2	138.4	137.2	133.0	
※7カ月後方平均							
一致系列							
1 百貨店・スーパー販売額(既存店)	1.4	-2.5	0.3	4.4	-6.0	2.2	
前月差	0.48	-0.83	0.09	1.41	-2.01	0.75	
寄与度	-184.8	-39.9	-19.4	-16.8	75.0	55.4	
2 旅行取扱高	-3.01	-2.94	-1.40	-1.23	4.29	2.45	
前月比伸比率(%)	-0.3	-2.3	0.0	-0.5	8.7	-8.0	
前月差	-0.05	-0.57	0.00	-0.11	2.09	-2.09	
寄与度	45.2	-25.6	20.0	9.1	-0.2	-19.9	
3 鉱工業生産指数	2.87	-2.58	1.52	0.74	-0.04	-2.01	
前月差	0.03	0.03	-0.01	0.01	0.02	0.01	
寄与度	1.81	1.27	-0.68	0.51	1.18	-0.71	
4 投資財生産指数	-22.9	-11.9	21.1	-4.8	33.5	-43.3	
前月差	-1.31	-0.63	1.31	-0.20	2.13	-2.61	
寄与度	0.3	-1.3	-3.2	-3.1	-4.8	-1.5	
5 有効求人倍率(全数)	0.04	-0.16	-0.38	-0.37	-0.61	-0.19	
前月差	0.9	-6.4	0.4	0.8	7.0	-4.4	
寄与度	88.7	82.3	82.7	83.5	90.5	86.1	
前月差	2.4	-1.0	-1.7	-1.8	2.8	1.1	
寄与度	87.3	86.3	84.6	82.8	85.6	86.7	
※3カ月後方平均	2.9	2.2	2.7	1.2	1.3	0.0	
※7カ月後方平均	78.5	80.7	83.4	84.6	85.9	85.9	
運行系列							
1 家計消費支出(勤労者世帯:実質)	-4.5	16.6	-7.0	7.7	-10.8	2.3	
前月差	-0.62	1.79	-0.96	0.91	-1.53	0.27	
寄与度	-0.9	-0.7	1.1	-0.7	-0.1	0.8	
2 常用雇員指数(全産業)	-1.50	-1.17	1.83	-1.31	-0.18	1.44	
前月差	4.6	0.5	1.1	0.5	-1.4	0.8	
寄与度	1.44	0.25	0.49	0.24	-0.63	0.41	
3 有効求職者数(全数)(逆方向)	-0.4	-0.4	-0.5	0.2	-0.4	-0.3	
前月差	-0.75	-0.72	-0.92	0.40	-0.78	-0.59	
寄与度	0.1	-0.2	0.3	0.3	0.5	0.3	
4 県内金融機関貸出残高	0.20	-0.44	0.65	0.67	1.17	0.71	
前月差	-10.4	6.0	37.6	12.8	15.5	-4.0	
寄与度	-2.25	1.28	3.54	2.64	3.01	-1.03	
5 青森市消費着物価指数(総合)	-23.1	22.7	-25.4	-9.7	23.5	-16.6	
前月差	-0.66	0.60	-0.71	-0.30	0.71	-0.52	
寄与度	0.06	0.02	0.15	0.08	0.13	-0.04	
6 7人ご消費着物価指数	-4.1	1.6	4.1	3.3	1.9	0.6	
前月差	91.2	82.8	96.9	100.2	102.1	102.7	
寄与度	0.9	-1.9	0.5	3.0	3.1	2.0	
7 公共工事請負金額	95.0	93.1	93.6	96.6	99.7	101.7	
前月差	-1.0	-0.8	0.3	-0.1	1.9	0.6	
寄与度	95.4	94.6	94.9	94.8	96.7	97.3	
前月差							
寄与度							
※3カ月後方平均							
※7カ月後方平均							

資料) 県統計分析課「青森県景気動向指数」